

第13次労働災害防止計画目標値

青梅労働基準監督署

死傷災害（休業4日以上）【全産業】

| 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 |
|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 316人 | 311人 | 305人 | 300人 | 295人 | 290人以下 |

厚生労働省目標 2017年と比較して2022年の死傷年千人率を5%以上減少させる

東京労働局目標 2017年と比較して2022年の死傷者数を5%以上減少させる

青梅労働基準監督署目標 2017年と比較して2022年の死傷者数を8%以上減少させる
達成できなかった12次防の目標を踏襲し290件以下を目標とした

年千人率とは、一年間の労働者1,000人あたりに発生した死傷者数の割合のことです。

死傷災害（休業4日以上の死傷年千人率）【第三次産業】（平成27年国勢調査 就業状態等基本集計及び労働者死傷病報告による。）

| 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 |
|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 1.67 (164人) | 1.65 (162人) | 1.63 (160人) | 1.62 (158人) | 1.60 (157人) | 1.59 (156人) |

東京労働局目標 2017年と比較して2022年の死傷年千人率を5%以上減少させる

青梅労働基準監督署目標 2017年と比較して2022年の死傷年千人率を5%以上減少させる

$$\text{年千人率} = \frac{\text{死傷者数}}{\text{1年間の平均労働者数}} \times 1000$$

死亡災害

12次防期間中最少の0人を目標とする！

2017年 1人

2022年 0人

厚生労働省目標 2017年と比較して2022年の死亡者数を15%以上減少させる

東京労働局目標 2017年と比較して2022年の死亡者数を15%以上減少させる

青梅労働基準監督署目標 第12次労働災害防止計画期間中の最少0人を達成する



トップが打ち出す方針

みんなで共有 生み出す安全・安心